

課題設定型提案募集シート

募集番号	No.6
募集テーマ	十文字駅及び駅前の活性化
担当課	十文字地域課
実現したい未来	無人駅となった十文字駅舎が活用され、十文字駅前に人が集い活気が生まれる
提案を募集する背景・課題	令和4年度よりJR十文字駅が無人駅となり、駅利用者の減少や駅前商店街の空洞化に拍車がかかっている。 一方で、「横手市都市計画マスタープラン」において、十文字地域中心部は副拠点エリアに位置づけられている。その中心部である旧十文字第一小学校跡地周辺の利活用の方向性を示した「シン・十文字拠点基本構想」が令和8年3月に策定され、そのコンセプトを「子育て世代を中心に多世代が集める憩いの場を核とした賑わいの交流拠点」としている。この拠点が大いに活用され、発展していくためにも十文字駅が果たす役割は大きいと考える。 また、JR東日本秋田支社では、駅舎等の遊休スペースを民間事業者と連携して利活用するプロジェクト「えきのわ」を展開している。この制度を活用し、併せて駅前に人が集うような仕組み作りができれば、十文字駅前に賑わいが生まれると考えている。
検討経緯 これまでに実施したことがある施策等	・令和5年度より駅舎にイルミネーション点灯 ・令和5年3月より乗車券類簡易委託販売を実施中（市からシルバー人材センターへ委託）
求める提案内容 ※想定する解決策・期待する提案等	本課題では、人が集まり、交流が生まれ、賑わい創出に直結するリアルイベント及び駅舎遊休スペースの活用の提案を歓迎します。 ・駅舎の利用可能な遊休スペースへの出店、コミュニティ活動 ・駅前周辺でのポップアップストア・地域イベント・フェスイベント等の企画、運営 ・駅利用者や地域住民、多世代の方々が立ち寄りたくなる待合・滞在・交流空間づくり ・地域事業者、商店街、住民団体等と連携した賑わい創出 ・イベントの継続性や収益性を見据えた事業モデル ・JR東日本秋田支社の「えきのわ」との連携を見据えた駅舎活用提案
募集期間	通年
実施予定時期	通年
横手市から提供できるメリット	・駅舎や駅前空間を活用したイベント・サービスを実証できる ・「えきのわ」との連携を通じて、駅舎等の遊休スペース活用を検討できる ・シン・十文字拠点や駅前商店街との連携可能性を検証できる ・市の広報媒体を活用した事業の情報発信
提案の選定方法 ※チェックのある方法で選定	☐ 特に選定をしません（提案内容が妥当であれば採用数を絞り込みません） ☒ 審査などによる選定を実施します（提案内容等を審査・選定し採用数を絞り込みます） ☐ その他（

提案のポイント ※事前に確認してほしい点等	本課題では、「賑わい創出に直結するリアルイベント及び駅舎遊休スペースの活用の提案」を期待しています。そのため、下記のような提案は応じかねます。 ・賑わい創出に直結しない提案 ・抽象的な地域活性化策や会議、勉強会の開催、人材育成の提案 ・十文字駅や駅周辺エリア、シン・十文字拠点以外の広域な回遊性向上に関する提案 ・観光客の回遊性を高めることに特化した提案	
事業実施にあたっての留意点、制約等	駅舎の活用についてはJR東日本秋田支社との協議が必要	
参考情報	特になし	
内容についての 問合せ先 (事業所管部署)	部課室所名	まちづくり推進部十文字地域課
	電話	0182-42-5111
	メール	jumonji-chiiki@city.yokote.lg.jp